

2018

SUGO 2 DAYS インデューロ



# SUGO 2DAYS ENDURO

## 開催概要

16年目を迎える本大会は、世界を視野に入れたライダーのスキルアップと、オンタイム制の楽しさを共有する目的で開催。また、体力や時間との戦いで個々の目標を持ち、感動をもたらすことを目指しています。スタッフ、ライダー、サポート、観客、全てが一丸となって競技の成功を導き、感動を体感しましょう！！

本大会は、エンデューロ東日本エリア戦と全日本の最終戦のダブルタイトル戦として開催し、参加者はそれぞれのシリーズポイント対象になっております。

全日本選手権の舞台で、感動のエンデューロをご体感ください！！

開催日 11月 24日～25日

大会名 2018 MFJ 全日本エンデューロ選手権シリーズ第4戦 R6, 7  
 2018 MFJ 東日本エリア選手権シリーズ第5戦 R6, 7  
 SUGO 2DAYS ENDURO 承認クラス併催

主催 SUGOスポーツクラブ

後援 JECプロモーション

公認 一般財団法人日本モーターサイクリススポーツ協会

定員 160名

### 1 クラス区分、ゼッケンの色

クラス	全日本 IA 1~50	全日本 IB 51~150	全日本ウイメンズ 151~199	全日本 NA 200~300	全日本 NB 301~400
排気量	オープン				
ゼッケンの色	赤地 白数字	紺地 白数字	紫地 白数字(左上に W)	黄地 黒数字	白地 黒数字
ライセンス区分	2018 エンデューロライセンス				

クラス	承認 B 501~600	承認 C 601~700	承認 CW 601~700
排気量	オープン		
ゼッケンの色	黒地 白数字	緑地 白数字	白地 赤数字
ライセンス区分	エンジョイ会員又は他カテゴリーMFJライセンス		

B 上級者 基準クラス参考。上級コースを問題なく走れる方  
エンデューロレース入賞経験者。(周回数、Nクラスと同じ周回数で一部ショートカットコース予定)

C 中級者 エンデューロレース完走経験者。  
(周回数Bクラスより1周減及びショートカットコース予定。)

C-W (排気量区分は設けません。周回数、コースはCクラスと同じ)

### 2. クラブチーム

3人(3台)でエントリーし、各クラス個人成績順位を単純に合算し、表彰する。(クラスは問わない)

### 3. 問い合わせ先

FAX 又は Eメールでお願いいたします。

FAX 0224-83-4095

Eメール [mstwo@sportsland-sugo.jp](mailto:mstwo@sportsland-sugo.jp)

## 申込期間・エントリーフィー

全日本クラス (IA, IB, NA, W) 10月22日(月)～11月9日(金)迄

全日本 (IA, IB, NA, NB, W) 28,000円

承認クラス 11月2日(金)～11月9日(金)迄

B, C, CW 26,000円 (募集人数は全日本クラスのエントリー数によります。)

申し込み方法は 2通り選べます。

※ 1日のみエントリー希望者は、お問い合わせください。

※ 今年度より現金書留は行いません。

※ 定員(160名)になり次第エントリー終了となります。ご了承ください。

① WEBエントリー先 全日本クラス <https://ws.formzu.net/fgen/S55271039/>

承認クラス 準備中

支払い方法は銀行振り込み、クレジットカード払い、コンビニ払いが可能

② FAXエントリーFAX番号 046-265-0010 (JECプロモーション)

FAXでお申し込みの場合は銀行振り込みのみとなります。

②振り込み先 ジャパンネット銀行 すずめ支店 普通口座 5908084

口座名義 ジェイイーシープロモーションナカニシサトル

## 4. コース

コースは参加する車両が如何なる天候状況によっても実行できるものを用意し、総走行距離は全日本クラス (IA, IB) 初日約 26km×4周～5周を基本とする。

全日本ナショナル、全日本ウイメンズ、Bクラス 4周 C, C-Wクラス 3周

2日目、初日の完走率により周回数を決定するが、基本初日より1周少ない週回数とする。

2日間とも、走行方向は同一方向とし、初日、第1ラップのスペシャルテスト計測は行なわない。

以降計測を行い、2日目は第1ラップ目より、スペシャルテストの計測を行う。

## 5. ライダー・ライセンス (2018年のMFJライセンスが必要。)

全日本クラスに参加するライダーは、2018エンデューロライセンスが必要。

B,C,C-Wクラスともエンジョイ会員又は他種目のMFJライセンスで参加できる。

ライセンス、エンジョイ会員共に、MFJへ事前に申し込みとなります。(事前取得必須です。)

## 6. 失格ライダーの救済

初日、タイムオーバーにより失格したライダーのみ、次の事項を満たしていれば、2日目も競技が出来る。

\* 全日本クラスは、日毎のレース(1日1戦)となった為、初日リタイヤしても2日目のレースに参加できます。

但し、翌日スタート前の再車検に合格しなければならない。

\* B,C,C-Wクラスのライダーは、翌日再車検を行い、競技続行できます。

(リザルトは出ますが、表彰対象から外れます。)

\* なんらかの理由で、パルクフェルメに保管された車輛については、競技続行できる。

(パルクフェルメ入場時、車輛チェックいたします)但しタイムオーバーの場合、表彰対象から外される。

## 7. 車輛

車検において、車両の識別のために以下に記すパーツはマーキングされる。

マーキング箇所 数 どのように、どこをマーキングするか

フレーム(メイン)	※ペイント	1	ステアリングヘッド右側
ホイール(ハブ)	※ペイント	2	各ハブ
クランクケース	※ペイント	1	右側
サイレンサー	※ペイント	1	(交換する場合、再車検が必要)

マーキングは、上記5つのパーツに限定される。

### スペアタイヤのマーキング

ボーナスポイントのチェックのために、スペアタイヤ(中古可)へも、マーキングを行なう。

タイヤのマーキングは、車検の隣にチェック所を設けます。(全日本クラス除く)

逆履きでの交換の方は、車検時申請ください。

## 8. パルクフェルメ

競技時間外は、パルクフェルメシステム(閉鎖管理。車輛保管)で運営される。

\*パルクフェルメ内では、以下の行為を行うことは厳禁とされる。

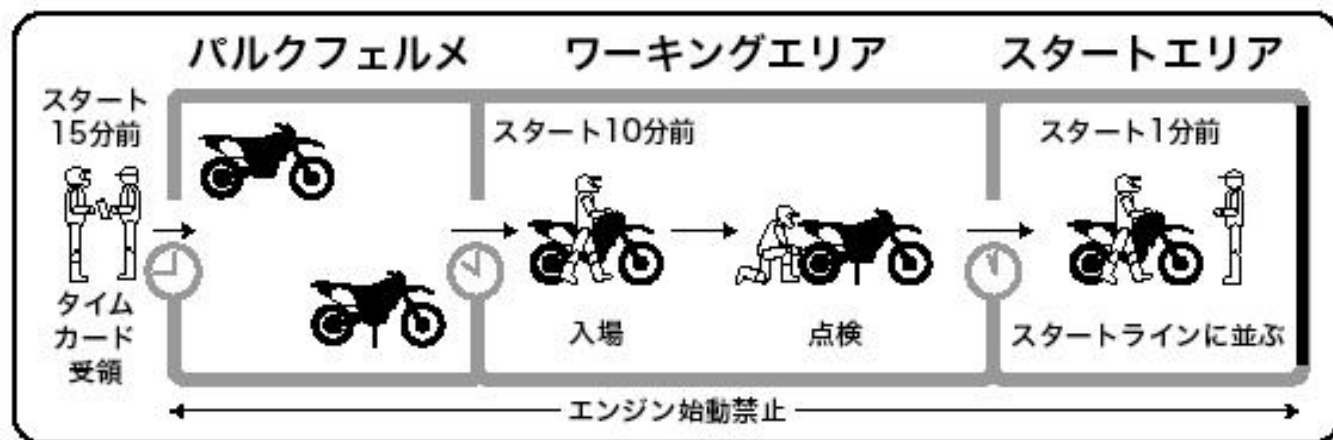
- 他のライダーのマシンに触れる
- 入退出以外で自分自身のマシンに触れる
- エンジンを始動させる
- 如何なるライダーもパルクフェルメ内で喫煙した場合、失格とされる。

## 9. スタートエリア

スタートシグナル(日章旗が振られる)が出されるまで、マシンへの作業は禁止される。

## 10. スタートタイムリスト 受付時に配布します。

### パルクフェルメ及びスタートエリア設置プラン



スタート待ちのライダー以外、スターティングエリアに進入することは認められない。

## 11. スタート順及びゼッケンナンバー

### スタート順

ゼッケン順にスタートする。1分おきに3台ずつゼッケン順にスタート。

(2日間共通)

### ゼッケンナンバー

全日本クラスの指定ゼッケン、IBは51~150、Wは151~199、NAは200~、NBは301~

Bクラスは501~、Cクラスはウイメンズ含めて、601番から振り分けられるが、前戦までのゼッケンが優先される。

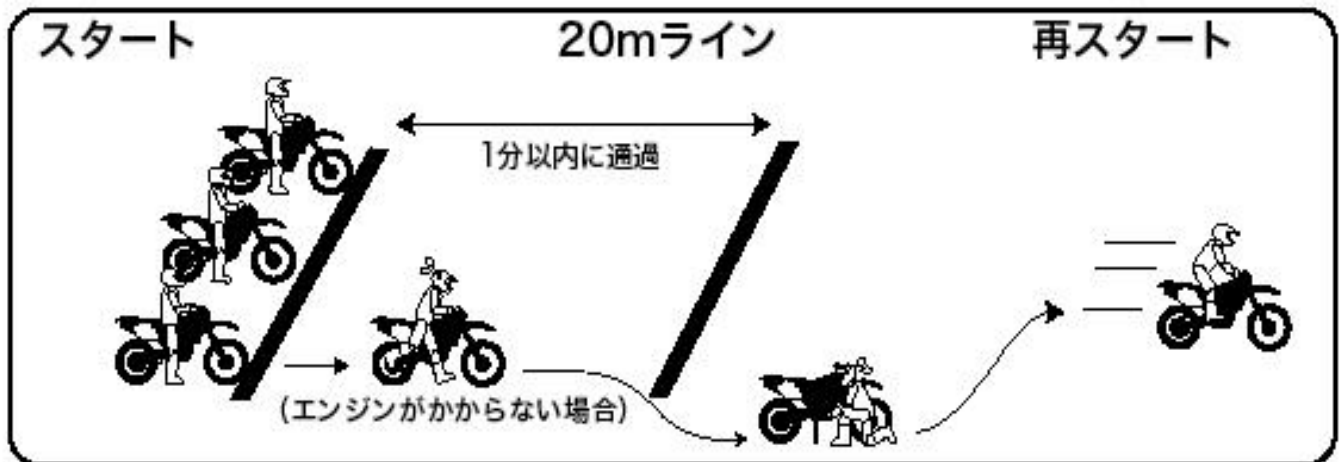
## スタート準備

15分前＝スタートタイムの15分前にタイムカードを受け取りパークフェルメに入る。但し移動は自分で押して移動。

10分前＝スタートタイム10分前にワーキングエリアに入場できる。但し移動は自分で押して移動。

オフィシャルタイムを表示する時計が各エリア入口に設置している

## 12. スタート



スタート時間から1分を過ぎてもエンジンが掛からない場合は、20mライン通過しコース脇で整備、再スタートとなる。ペナルティー10秒が加算される。

**1分以上遅れた場合** スタートラインを通過したタイムが、タイムカードに記入され、その時間がスタート時間となる。1分単位で遅れた時間がペナルティーとなる。遅れた時間は取り戻せない。

## 13 タイムカード及びルートカード

タイムカードは2日間ともパークフェルメ進入時発行される。ライダーは、自分のタイムカードに各タイムチェックの記入を受ける責任を有する。

タイムカードを紛失した場合、次のタイムチェックの担当オフィシャルより新たなカードを受け取らなければならない。

## 13 タイムキーピング

サポートは、常に参加者のタイムを管理し、競技終了後速やかに結果を計時することを推奨する。

### ワーキングタイム

最終周のみ、ワーキングエリアの手前には、**新たに最終タイムチェック** (プレフィニッシュ P-6 概略図) が設けられる。ライダーは、このタイムチェックから最終タイムチェックに行くまで15分間が与えられる。

**プレフィニッシュから最終チェックに限り**、早着でチェックを受けても、ペナルティーはない。早着でペナルティーがないのはこの区間のみ。

### ワーキングエリアの場所

駐車場 (パドック) と、朝のスタート前、ワーキングエリアの2箇所

## 14 タイムチェックペナルティーの計算

定められた走行タイムを守れなかったライダーは、タイムチェックの時計を基準として1分早着または遅着につき1分のペナルティーとされる。

\*その時間を示した分が(00秒～59秒まで)が、記録タイムとなる。

記録タイム＝次のセクションのスタートタイム

## 15 タイムリミット

24-1 スタートの遅れ

自分のスターティングタイムに60分以上遅れてきたライダーは、自動的に当該日の競技から失格とされる。

24-2 レースのタイムオーバーとは、

早・遅着のペナルティー合計が60分以上となったライダーは失格とされる。

### リタイヤ及びリタイヤ届の義務

\*レース中、リタイヤするライダーは近くのアフィシャルの指示を仰ぎ、本部にタイムカードを提出する義務がある。2日目の走行が出来ないライダーは、トランスポンダー返却と共に本部にリタイヤの意思を伝えてください。

\* 競技会からリタイヤしたライダーは全て、ゼッケンプレートを消すか取り外さなければならず、他のライダーの同伴として走行ルートを継続して走行することは認められない。

リタイヤ届を提出しなかったライダーへは、捜索費など、かかわる経費を負担していただくことがあります。

### 16 特別タイム酌量のためのクレーム

重大事故が発生し、救助のために停止しなければならなかった為に延着となった場合、酌量が考慮される。

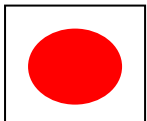
### 17 ルートチェック

ルート中にスタンプチェックする場所。

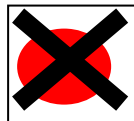
### 18 ルートマーキング

以下の色がアフィシャルルートのマーキングに使用される。

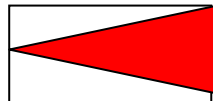
直進、道なりに進め



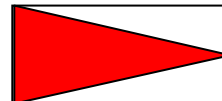
ミスコース



左折



右折



### 19 補給 - アシスタンス

— 補給は、白旗と黄旗の間にあるワーキングエリア（パドック）と、朝のワーキングエリアでのみ行うことができる。

— 朝のワーキングエリアへは、全日本のIA,IBクラスのみメカニックはピットクルーライセンスが必要です。（選手受付時、登録を済ませること。記事と、パスケースで所持携帯する事。）

— スタートエリアにおける燃料補給は認められない。（ワーキングエリアのみOK）

### \*禁止事項

— 黄旗とタイムチェックテーブル間での補給は禁止される。

— マシンに確実に固定されたタンク内または専用容器以外で燃料を携帯することは認められない。本規則に違反した場合、失格とされる。（またはFIM規律及び裁定規定に明記された他のペナルティーが与えられる場合がある）

— 如何なる発火性の強い液体をもライダーが携帯することは厳禁とされ、違反した場合、失格とされる。

— 車検員は、如何なる場所でも検査することが出来る。

— 指定されたエリア以外で補給を受けた場合、失格とされる。

— 補給中は、エンジンを停止させなければならない。

— 燃料補給中、各チームは燃料補給ポストの近く（最大5mの範囲内）に最低5Kgの消火器を準備する事を推奨する。

— 喫煙（但し、車の中、ケータリング専用テントの中、指定喫煙所のみ喫煙を認める）

## 20 外部からの援助 可能な援助

- 一布又はスポンジ、ブラシによるスポンサーロゴ、ゼッケンの清掃
- 一工具、パーツの手渡し認められる。
- 一ガソリン、ラジエター液、オイル、空気の補給が認められる。
- 一タイヤに空気を入れるためのコンプレッサーは認める。(但し、朝のワーキングエリアへは持ち込めない)

### 禁止事項

- 一水道から、ホースを引いての洗車や、洗車機使用は禁止される。
- 一電動工具の使用は禁止される。(コードレスのバッテリーパワー工具は認められる)
- 一エアーツール(空気入れのみ OK.)
- 一チェーンオイル(サポートは出来ない。ライダーのみ OK)

## 21. 環境保護マット(マシンの下に敷くマット)

環境保護マットまたは同等のその他有効な器材の使用は、ワーキングエリアで全日本クラスは、義務化。

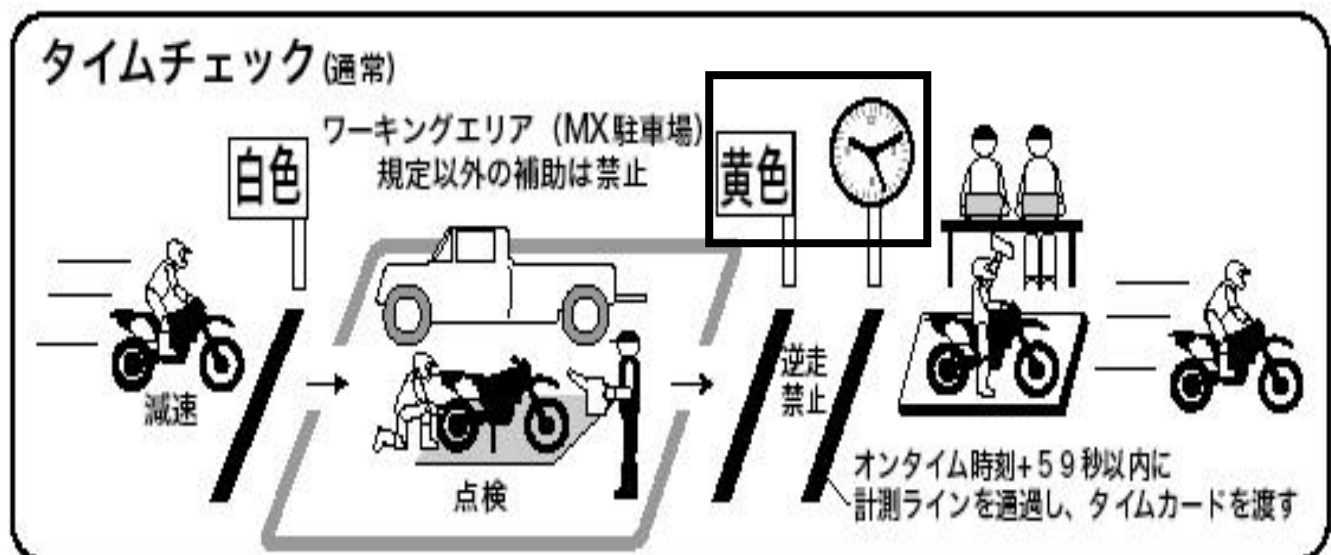
B、C、CWクラスへは強く推奨する。

マットの最低寸法は、最低マシンのホイールベース長及びハンドルバー幅と同等のサイズのものとする。(防火素材が望ましい)

## 22 認められない連絡法

ライダーは、無線の受信または交信を行った場合、失格となる。

## 23 タイムチェックの手順(通常周回時)



※状況によりレイアウトを変更する場合があります。

タイムチェック

**a**

通常周回と最終のタイムチェック  
※最終周回のみ早着減点なし

**b**

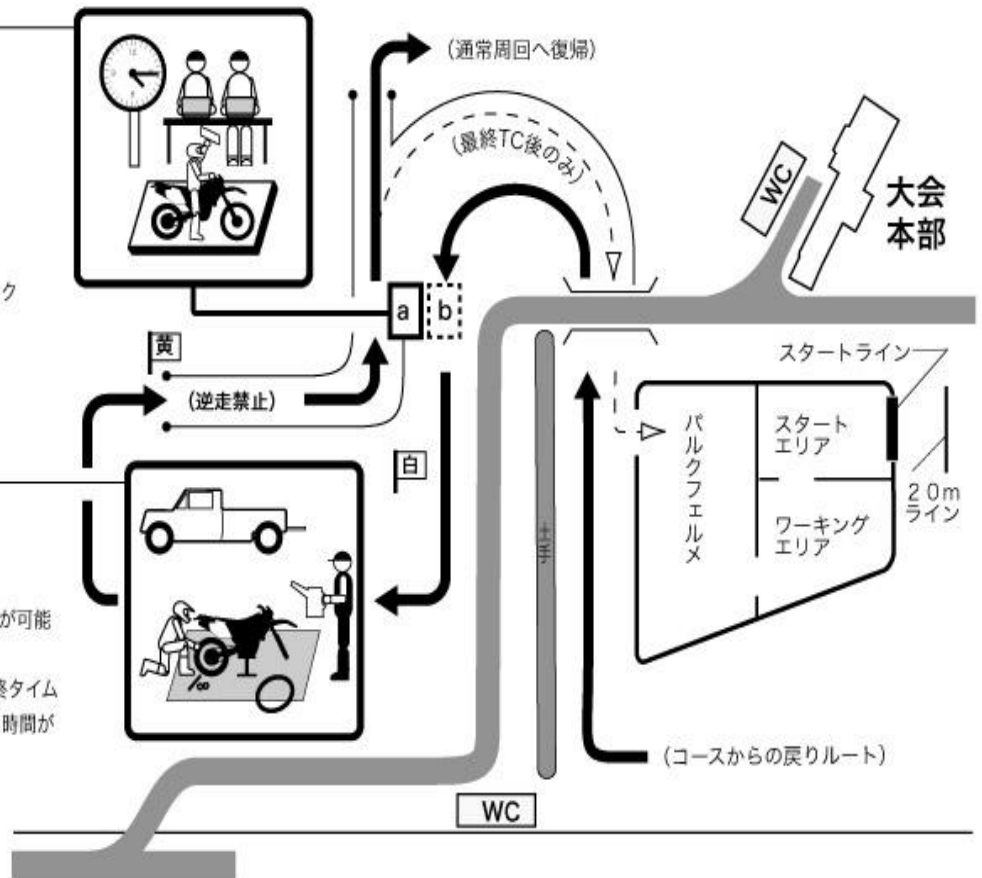
最終周のみ設置される事前タイムチェック  
(プレフィニッシュ)

ワーキングエリア

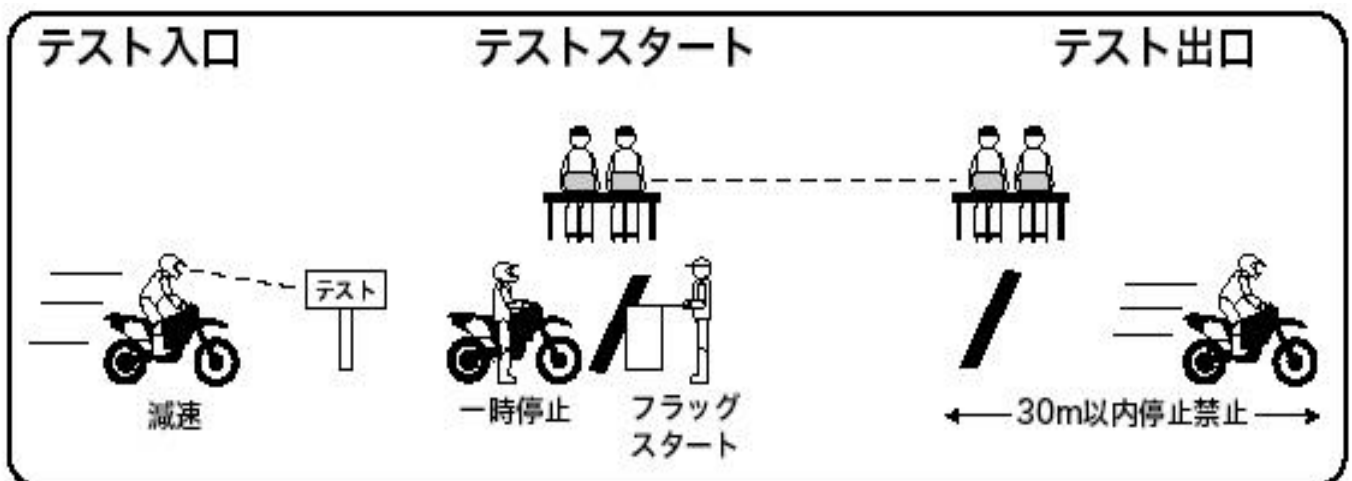
SUGOモトクロス駐車場

通常周：時間が余っている場合、  
オンタイムまで整備・補給等が可能

最終周：プレフィニッシュ時刻から最終タイム  
チェック時刻まで15分の持ち時間が  
与えられる



24 スペシャルテストの手順 (CT,ET,XT)



初日の第1ラップ目のテストではタイム計測は行なわない。2ラップ目よりタイム計測が実施される。

2日目は1周目のテストから、計測を行う。

ライダーは、フィニッシュライン通過後 30mまでは停止してはならない。30mラインは看板で明確に標される。スペシャルテストには、クロステスト (CT) エンデューロテスト (ET) エクストリームテスト (XT) がある。  
注、C. C-WクラスにはXTテストはありません。



## 25. ファイナルクロステスト

全日本クラスはポイントスケールが日毎となるため、2日目の完走者が出走する。

B、C、CWクラスは、2日間の完走者のみが出走する。

モトクロス場を使用したモトクロスレース。走行タイムが、テストタイムとなる。

CW、Cクラスより始まり、B、全日本クラスの順で行われる。別のクラスでも台数の偏りがある場合、混走になる場合があります。周回数はコースコンディションにより、短縮になる場合がある。

スターティンググリッドへは、上位のライダーから選べる。

(周回数は天候やクラスにより異なる場合があります。)

## 26. ボーナスポイント (全日本クラスには、適用しない。)

B、C、C-Wクラスは、タイヤ交換で、ボーナスポイントが与えられる。但し、初日最終15分のワーキングタイムと、2日目の朝、10分のワーキングタイムで交換したものに限り。更に、交換するタイヤは、車検時にチェックを受けたものに限る(タイヤにスプレーマーキング)。ボーナスポイントは、1本に付、60秒で最大120秒のポイントが走行タイムより差し引かれる。(タイヤは新品とは限らない)逆履き希望の方は申請が必要。

### スピード取締り

競技中、ライダーはSUGO内で適用されている交通法規に準拠しなければならない。交通法規に違反したライダーは、事情を聞いた上、スピードに応じて罰金を支払わなくてはならない。また、失格または他のペナルティーが与えられる場合がある。舗装路は20Km/h規制になっており、スピードガンによる取締りを行います。スピードガンで40Km/hを超えたライダーは全て罰金を徴収する。(オーバー速度ではなく走行速度)罰金は走行速度1Km/h毎に100円とする。(オーバー分ではなく速度に対し100円)

(例、20Km/hを超えた40Km/hで走行のライダーは走行速度40×100円=4,000円の罰金とする。)

### コースカット、キャンセル

レース続行ができない状況になった場合、その週の区間タイムの遅着ペナルティーを計測結果から全員に対して省く。また、その区間の一部をコースカットし、レースを続行する。その決定は、審査委員会となる。

### その他

- ・ヘルメットリムーバーの推奨
- ・各チームに1個、消火器の設置(大きさは問わない)
- ・ティアオフレンズの使用禁止(ファイナルクロスのみ使用可)
- ・生分解性オイルの推奨

## 27 抗議

抗議料10,000円とともに抗議を提出することができる。抗議が受け入れられた場合、抗議料は返還される。抗議は、以下に記す期日以内に提出されなければならない。

- ① 抗議がライダーまたは車両に関する場合、各クラスの最終ライダーがパルクフェルメに到着して30分以内。
- ② 競技に関する抗議は、初日分は2日目スタート前まで。2日目は結果発表後30分以内に本部に対して提出されなければならない。

## 28 結果の発表

初日の結果は、18時までにはモトクロス場掲示板に掲示いたします。

2日間の総合結果については、表彰式前に掲示いたします。

## 29 表彰

表彰式は、2日目に総合タイムで、正式結果に基づき全クラス15:40より本部前にて行う。

各クラスの個人表彰(各クラス6位までが表彰)ペナルティーと、テストタイムの合算ポイントで、少ないものから順位がつけられる。

クラブチーム表彰(3位まで表彰)

3人の2日間総合順位の合算で、ポイントの少ないチームから順位がつけられる。

# 技術規則

MFJ エンデューロ規則に順ずる。

## 1 車両規定 (車両規定ダイジェスト図解参照)

### 最終車検

パルクフェルメ入場前に、全てのマシンが車検員によって、チェックされる。

## 2 ゼッケンプレート

車両の、フロント、両サイドにゼッケンベース色と、ゼッケンNo.を付けなければならない。

I A, I Bの車両には、シリーズスポンサーステッカーを車検時、フロントゼッケンプレートの、一部に主催者が貼ることがあります。

フロントゼッケンの形はライト式を推奨する(ライトはいらないが、雑誌などでEDと分かるように)

## 3 保安部品及びスピードメーター

正常に作動するスピードメーター(サイクルメーター、GPS可)が、取り付けしていなければならない。

以外の保安部品は必要としない。

## 4 ヘルメットの着用 MFJ公認ヘルメットとする。

注意 個人輸入したヘルメットはMFJ公認ではありませんので、使用できません。

正規ルートで輸入され、MFJが公認したヘルメットのみ有効です。

**車両規定 ダイジェスト図解**
**SUGO 2DAYS ENDURO**

※技術規則及び競技規則書を熟読の上、参照のこと

マフラー音量 **112** dB/A以下

**レバー (図A)**

○		純正品か市販品のレバーであれば可 ハンドガード装着 であっても丸く加工
○		先端を丸く加工済 先端に玉を溶接済
X		先端が折れている 先端が脱着できる

**サイレンサー形状 (図B)**

	X
	○
	○

**ゼッケン (図C)**

○	1234567890	1234567890	1234567890
X	1234567890 <small>ローマン書体</small>	1234567890 <small>フリーハンド書体</small>	1234567890 <small>オリジナル書体</small>